



所 管	まちづくり企画部ラリーまちづくり課		
担 当	原	問い合わせ	0573-26-6807

報 道 機 関 各位

フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 F I A / J A F マーシャルトレーニングの実施について

令和7年11月6日（木曜日）から開催される、「フォーラムエイト・ラリージャパン 2025」に向けて、競技運営者らを対象にF I A（国際自動車連盟）とJ A F（日本自動車連盟）主催のマーシャルトレーニングが行われました。本日、ラリージャパン 2025 実行委員会が別紙のとおり情報提供しましたのでお知らせします。

記

1. 実施概要

実施日時：令和7年9月25日（木曜日）～27日（土曜日）

実施場所：愛知県豊田市内

参加人数：J A F 公認審判員資格を持つ競技オフィシャル・マーシャル
マーシャルサポーター（旧オフィシャル競技ボランティア）
など計61人

2. 実施内容

別紙のとおり

報道関係者各位



2025 年 10 月 3 日

ラリージャパン 2025 実行委員会

FIA 世界ラリー選手権（WRC）フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 競技オフィシャル・マーシャルなど、FIA/JAF マーシャルトレーニングを受講

2025 年 9 月 25 日（木）～27 日（土）、愛知県豊田市内で、本年の FIA 世界ラリー選手権（WRC）フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 の競技運営者らを対象とする FIA（国際自動車連盟）/JAF（日本自動車連盟）主催の「マーシャルトレーニング」が行われ、JAF の公認審判員資格を持つ競技オフィシャル・マーシャル及びマーシャルサポーター（旧オフィシャル競技ボランティア）など 61 名が、3 日間にわたって受講しました。



受講者は、日頃、全日本ラリー選手権や地方選手権で競技オフィシャルやマーシャルとして競技運営にあたっているベテラン審判員が多くを占め、彼ら競技運営者と一緒に当日活動を行うマーシャルサポーターの方々も加わっていました。講習会は、FIA WRC セーフティデレгат（安全責任者）のニコラ・クランジェ氏がメインの講師となり、JAF モータースポーツ部の村田浩一部長が監修する中、午前中の座学講習及び施設の駐車場を利用した実地トレーニングの 2 部構成で実施されました。これは、2024 年のラリージャパン開催期間中に一般車が規制線内を突破して競技進行を妨害した事実に対し、再発防止のため FIA が安全対策のためタスクフォースを編成し、安全な競技運営を確保するために行われました。

座学講習では、WRC の競技運営上の安全に関する役割分担とその責任、指揮系統の確認、競技オフィシャル・マーシャル間のコミュニケーションなど重要事項についての説明が行われ、続いて実際のスペシャルステージの安全を確保するセーフティキャラバン（トリプルゼロ、ダブルゼロ、FIA セーフティデレгат、ゼロカー、スーパードライバーなど）の役割確認などを行い、質疑応答を徹底的に繰り返しました。午後の実地トレーニングでは、パイロンと規制テープを使用して SS コースを再現し、各ラジオ（無線）ポイント、観戦ポイントに競技オフィシャル・マーシャル・マーシャルサポーターを配置して、セーフティキャラバンに続いて競技車両に模した車両を走らせ、各所で起きる不測の事態に如何に対応し、指揮系統に連絡するかをトレーニングしました。ニコラ・クランジェ氏や村田部長が熱心なファン役を演じ、規制テープから体を乗り出したり、コースを横断したりして安全と言えない状況を作り出し、受講者の対応についてコメントする、というやり方で進行。ラリー競技に精通しているマーシャル達も当初はやや戸惑い、遠慮がちな対応が見られましたが、繰り返すたびに動きや連絡もスムーズとなり、まさに実戦さながらのトレーニングとなりました。終了間際には、茂みから突然現れる観客役、自転車でコースを逆走する住民役も出現し、その都度マーシャル達は迅速に対応していました。

（次ページに続く）

Title Partner

Gold Partner

Bronze Partners





ニコラ・クランジェ氏は、「本日はトレーニングでしたが、ここで起こったことは、ラリーウィークに実際に起こりうることばかりです。ただ、本番では、何か問題が発生したときに必ずしもマーシャルの皆さんからそのトラブルが見えるわけではありません。だからこそ、それぞれの手順やセーフティキャラバンによる検証、そしてステージコマンダーやラリーコントロールが起きた事象を把握しておくことが重要です。特に観戦ポイントには、十分なマーシャルを配置しておく必要があります。様々な観客の方がいらっしやいます。どんな振る舞いがなされるか予見するのは困難です。日本では他人に対してリスペクトを払うという文化がありますが、そうでない方がラリー観戦するかもしれません。皆さんの担当領域で不測の事態が起きた場合、躊躇せず手助けを求めてください」と締め括りました。

ラリージャパンのセーフティオフィサーを務める染宮弘和氏は、「今日は、簡単なコースを作ってシミュレーションしました。参加者の皆さんは、当初ゲーム感覚で体験していたかもしれませんが、これらのトラップは本当に起こりうること。私は見ていて結構ハラハラしていました。実際にこういうことが起きたらどうなるんだろうかと。しかし、慣れてくると、どんどん対応が良くなりました。こういうシミュレーションを実際にやることは、確実に安全につながると実感しています。しかし、一朝一夕にはできないので、少しずつ毎年レベルを上げていきたいと思います」と話しています。



◆（参考）FIA 世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 概要

世界ラリー選手権（WRC）の2025年シーズン第13戦として日本で開催される世界大会

- 大会名 日) FIA 世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン 2025
英) FIA World Rally Championship (WRC) FORUM 8 Rally Japan
(通称)フォーラムエイト・ラリージャパン 2025
- 主 催 トヨタ・モータースポーツ・クラブ／特定非営利活動法人 M.O.S.C.O.／豊田市
- 興行主体 ラリージャパン 2025 実行委員会（豊田市／恵那市／トヨタ・モータースポーツ・クラブ／
特定非営利活動法人 M.O.S.C.O.／豊田まちづくり株式会社）
- 開催期間 2025 年 11 月 6 日（木）～9 日（日）
- 開催地 愛知県、岐阜県
- 大会公式 HP <https://rally-japan.jp/>



本件に関する問い合わせ先（報道関係者）

ラリージャパン 2025 実行委員会 メディアオフィス担当 Mail : media-rj@rally-japan.jp